

生き物と暮らし

今回も西原町立図書館内の地域情報コーナーを紹介します。「にしはらを知ろう！」のなかの「生き物と暮らし」では、約300種類の植物や動物が、西原の人々の生活にどうかかわっていたのか調べることができます。



植物・動物の名前、種類、字ごとの方言での呼び方などから検索しはじめ、そのあと、写真の一覧から選択していきます。写真を見て

いるだけでも興味があるが、ついでいくかもしれせん。



そして、それぞれの生き物の生息する場所、特徴などが書かれたページへ進みます。写真は、いつごろ、どの辺で写したのか記入されていて、生き物たちのさまざまな姿をみることができます。



「衣」「食」「住」「娯楽」「伝統」「生

産」「生活知識」に分類された「暮らし」のかかわりです。



たとえば、「生活知識」から「オオハマボウ」を選択すると、葉をトイレットペーパーのようにおしりをふくのに使った、といったことがわかります。

そしておすすめは、各字の方言を音声で聞けること！ 音声は、これまでおこなってきた方言調査での録音をもとにしています。「地域の方言で何と云うのかな？」の次画面で下線のついた文字を押す

と、方言の音声がかかります。



声の大きさや発音の速さによって聞き取りにくいものもありますが、ひとつの単語が、字によって違う形で呼ばれたり、また、同じ形で呼ばれてもアクセントが違っていたりとおもしろい発見がありますよ。

現在は、生活でのかわりが少なくなってしまうた生き物も多いのですが、生き物たちの特性をよく観察して、実用的に、ユニークに生活のなかに取り入れていた人々のようすがうかがえるのではない

かと思えます。来館時にはぜひご覧下さいね。

寄贈ありがとうございます！



字小波津在住の呉屋仁清^{じんせい}さんより、ホヤランプを寄贈していただきました。高さ約40cm、重さ650gで、戦前から戦後にかけて使用していたものだそうです。ホヤランプは石油を燃料にして明かりをつけます。ガラスについたすすをそうじするのは、子どもたちの仕事でもあったといいます。すすで手や顔が黒くなった経験をされた方もいらっしゃるのでは？